

広島市民病院でのクラスターの発生について（第5報）

令和2年12月17日（木）にクラスターの発生を公表した広島市民病院において、新たな患者が確認されました。

現在、患者の行動歴など、積極的疫学調査を実施しており、その結果把握した濃厚接触者等に対しては、健康観察及びPCR検査を適切に実施することとしています。

1 経緯等

- ・広島市民病院では、PCR検査の結果が陰性であった職員について、体調面に不安があるなどの理由により本人が希望すれば、再度PCR検査を実施しています。
- ・この度、クラスターが発生した病棟の職員の1人（自宅待機者）で、12月15日（火）のPCR検査では陰性であった者が、12月21日（月）にPCR検査を実施したところ、翌日に陽性が確認されました。
- ・患者については、感染症指定医療機関等への入院などを調整しています。
- ・本人等からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴及び県外往来歴はありませんでした。

2 患者概要

(1) 年代

① 既公表分

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職員	2	2	3※1	3※2	—	—	10
入院患者	—	—	—	1	—	2	3
既退院者	—	—	—	—	—	2	2
計	2	2	3	4	—	4	15

※1及び※2：いずれも1名は、市外在住者のため、本市患者に含めない。

② 本日公表分

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職員	1	—	—	—	—	—	1
計	1	—	—	—	—	—	1

③ ①と②の合計

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
職員	3	2	3※1	3※2	—	—	11
入院患者	—	—	—	1	—	2	3
既退院者	—	—	—	—	—	2	2
計	3	2	3	4	—	4	16

※1及び※2：いずれも1名は、市外在住者のため、本市患者に含めない。

(2) 居住地

広島市

(3) 症状

なし